

事業所名:四天王寺悲田院児童発達支援センター

公表日:令和5年4月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	27	1	・使用予定の部屋を表を使って担当者で共有、調整している。 ・利用人数を事前に確認し調整している。
	2	職員の配置数は適切であるか	23	6	・出欠状況に応じ、フリー等応援体制がとれている。 ・児童数で職員数が決めているので、子どもの特性を考慮した職員配置が必要。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	8	・広いスペースを衝立で調整し、子どもに応じて検査室として機能するよう工夫している。 ・階段の1段が高い。 ・エレベーターがない(保育棟)。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	6	・年中、害虫がいる。 ・トイレの便器の種類がもう少しあればいい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	25	2	・クラスのノートで事前課題など提示した際、振り返りや反省もノートに記入できれば、共通認識への改善になる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	27	2	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	30	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	27	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	27	2	・研修の機会が設けられている。 ・現場職員のニーズに合った研修をこれからも実施してほしい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	25	1	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	20	7	
	12	児童発達支援計画には、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」それぞれに対し、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	3	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27	2	・共有されており、変わった点があれば担当から指示がある。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	21	3	・その都度、担当職員で情報共有を行っている。 ・クラスでの振り返り、打合せを実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	27	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	23	3	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22	5	・連絡ノートの活用と声掛けで確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	18	9	・特に気になった点は共有するようにしているが、バス乗車等があり、必ず行っているわけではない。支援の振り返りは大事だと思う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	25	1	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	26	1	・ケース記録を確認し、モニタリングの進捗を確認している。
関係機関や保護	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	23	2	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	24	1	

者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	21	3	・保護者を介して情報収集している。 ・保健師がセンターに来園されるときに情報共有している。
関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	21	5	・整えているように思うが、時間がかかっているように感じる。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25	1	・保護者からや移行先の要望があれば実施している。実際にセンターでの様子を見て頂いたうえで情報共有するようにしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	26	1	・小学校に向け保護者と問題点を学校側に尋ねてもらったりイメージし、今できる事に取り組んでいる。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17	6	・他機関の研修に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18	8	・コロナ禍ということで減っている。今後、交流の形を検討し、積極的に行っていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	15	6	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	29	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ポータル等)の支援を行っているか	21	3	・保護者のニーズや子どもの状況を踏まえて、家庭で実施して頂くプログラムの提案を行い、その進捗状況を確認している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	27	0	
	33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	26	1	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	28	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25	2	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	27	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	29	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	29	0	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	16	9	・利用児対象の行事を開催した。コロナの扱いが変わっていく中で、地域の方々への発信をどのように行っていくのか検討が必要。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	26	1	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	28	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	28	0	・バス添乗で周知事項として書面での確認はしているが、いざ何かあれば正しく行動できるか不安がある。継続的に研修を実施していく必要がある。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	28	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	28	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	27	1	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	23	3		